

平成 19 年 10 月 11 日

瑞浪超深地層研究所の施設活用について

超深地層研究所跡利用
検討委員会事務局

昨年度に実施された第6回の超深地層研究所跡利用検討委員会(平成18年8月1日)において、地上施設における体験学習の場としての施設活用の状況と震度100mの予備ステージの活用などの具体化策案をご報告させていただきました。

今回は、本委員会以降の施設活用の状況と深度200mにおける活用方策について紹介させていただきます。

1. 研究坑道の活用方策の実施状況

研究成果の現場での展示

深度100mの予備ステージでは、地下水の水圧や水質の観測やボーリング孔にひずみ計を設置し観測を行っています。

そして、これらの研究の成果を説明するパネルを現地に設置し、一般見学会等で広く紹介をしています。



100m 予備ステージのパネル展示

2. 今後の進め方

200m 予備ステージ及びボーリング横坑での研究終了後に、これまでの検討結果を踏まえた活用方策の整備を進めてまいります。

3. 研究坑道の活用方策

深度200mのボーリング横坑での地質の体験

主立坑側のボーリング横坑の奥では地層の露出部分を設け、実際の地層を見て直接触れることができるように整備する計画です。



地層の露出部分

(参考)地上施設における活動状況

瑞浪超深地層研究所では、平成 18 年度に瑞浪市地球回廊や研究施設を利用し、以下の取組みを行ってまいりました。

(1)見学・展示

瑞浪市地球回廊の原子力機構ブース(日本列島ひとまたぎ)での展示
立坑で採取した60m以深の岩石(10m毎に深度200mまでの岩石)に直接触ることができるとともに、地層(岩石)の特徴について説明をするパネルを設置し、より分かりやすい展示としました。



瑞浪市地球回廊における立坑の岩石展示

東濃地科学センターホームページのリニューアル

東濃地科学センターの事業の紹介や研究成果、地下に関する学習コンテンツ、ライブカメラ映像(静止画)などを含め東濃地科学センターホームページをリニューアルしました。



東濃地科学センターホームページ

立坑壁面の表示システム

研究坑道掘削により得られた地層の壁面写真やスケッチを用いて、パソコン上で連続的に観察することができるシステムを開発し、研究所管理棟内に設置、ご覧いただけるようにしました。また、昨年度は100mの予備ステージの壁面のデータも追加しました。



壁面画像(100m 予備ステージ)

瑞浪超深地層研究所の見学会

瑞浪超深地層研究所では、一般の方々の見学を随時受付けております。また毎月1回の坑道内の見学会を定期的に行ってまいりました。平成 18 年度は、約2,100名の方々にご見学をいただきました。

(2) 体験・実験

研究所が位置する地域の特色を活用し、周辺施設との連携などを含め、以下の取組みを行っております。

地域行事での活動

「おもしろ科学館 2006 in みずなみ」において、平成 15 年度より継続して実施している瑞浪市民公園“へそ山”付近の地層の露頭を活用した地層及び断層に関する見学ツアー及び研究所の見学ツアーを開催しました。また、本年度も昨年に引き続き「おもしろ科学館 2007in みずなみ」(11/2～4)にて同様に見学ツアーを開催します。



昨年度の地層・断層ツアーの様子
(8月25～27日 計51名参加)



昨年度の研究所見学ツアーの様子
(8月25～27日 計72名参加)

児童・生徒を対象とした地層に関する講義

校外学習への協力

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の学習支援として、研究所での研究内容の紹介と現場の見学をしていただきました。



平成 19 年 5 月
岐阜県立恵那高校(80名)



平成 19 年 8 月
名古屋市立向陽高校(49名)



平成 19 年 8 月
私立静岡北高校(55名)

) 文部科学省が進める科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクールとして指定し、高等学校及び中高一貫教育校における理科・数学に重点を置いた取組を大学等との密接な連携の下で推進し、将来の国際的な科学技術系人材の育成に資する。